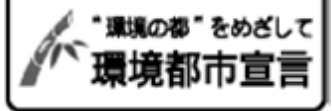


# 環境の都ニュース

2013. 3. 1 NO. 68



発行：長岡京市  
環境の都づくり会議  
発行責任者：江川 宗治  
編集担当者：山本 雅夫

## 「地域ぐるみのエコ活動」

長岡京市女性の会は、長年にわたり地域の絆を大切にいろいろな活動を行っています。平成20年度から、地球温暖化などの環境学習を積極的に行い、毎年地元の小、中学校にゴーヤーの苗を配り、グリーンカーテンづくりを子どもたちと一緒に続けています。平成22年9月には、福知山市のエスペック株式会社の谷口様他にお世話になり、市内の2つの小学校で、サーモグラフィーによる温度変化を学ぶ学習会を行い、ゴーヤー紙芝居とゴーヤーダンスも教えて頂き、みんなで楽しく環境を学ぶ機会となりました。学校の給食に収穫したゴーヤー料理が出たり、当会でも夏休みにゴーヤー料理講習を開き、子どもたちにゴーヤーのおいしさを味わって頂いています。

女性の会は毎年、長岡京市環境フェアにも参加させて頂き、環境活動の報告を展示すると共に、私たちが学んだことをご参加頂いた方にも伝えていく取組をしています。フードマイレージの学習や牛乳パックで作ったりサイクルおもちゃのマンカラゲームやゴーヤー紙芝居を通して環境啓発をしています。

昨年11月の第4回環境フェアでは、参加者家庭で実践している省エネについてのアンケートを行い、皆さんが身近な省エネに取り組んでおられることがわかりました。

私たちは福島原発事故を受けこれまで以上に、限りある資源を無駄にしない生活を、みんなで実践していくことが何より大切だと思います。

長岡京市女性の会 秦 陽子



環境学習会(神足小学校)



ガラシャ祭り(ゴーヤーダンス)





神足小学校で2月7日、1年生48人を対象にすくすく教室で、ソーラーパネルや手回し発電機をつかい発電あそびを体験してもらいました。なかでも「野菜電池」はレモンや大根で電池ができるのですが、実際にレモンや大根が電池になり、オルゴールが鳴っている光景をみると、子どもたちはビックリして顔を見合わせ「なんで～っ？」と嬉しそうにはしゃいでいました。この姿を見て、この純粋に起こる好奇心が学習に繋がって「勉強って楽しい」と思ってもらえると私も嬉しいです。

エコチームPJT 赤井 望



身近なものでの不思議な現象に興味しんしん



野菜電池で鳴るオルゴールを耳に当てて聞く

長岡第十小学校で「野菜電池」実験  
エコチームは、毎年、長岡第十小学校のすくすく教室に講師を派遣しています。この2月6日には昨年12月12日の「すくすく教室4年生～燃料電池実験」(ニュースNo.67)に引き続いて「すくすく教室3年生～野菜電池実験」が開催されました。「だいこん」に差し込んだ電極に電子メロディをつなぐと、なんと、音楽が聞こえてきたので、これには驚き。次に、LEDを光らせ、テスターで電圧を測って、本当にだいこんで電気が作れたのを確認し納得をしました。子ども達は目をきらきらさせなが

ら実験に取り組み、上手く出来たので、満足と感動を覚えた様子でした。実験や工作は子ども達が本来持っている「何でもやってみたい。知りたい。見たい。」といった知識欲、好奇心、冒険心といった向上的意欲に灯をともします。今回参加の子ども達にも、この灯を自分の力で燃やし続けて、あらゆるものへの関心、興味の気持ちを失わずに成長し、豊かな経験と知識、豊かな感性を備えた、科学的な物の見方が出来る大人になって欲しいと願いました。

エコチームPJT 天野光雄



花を咲かそう PJ

花を咲かそうPJT日記

2012・12・26

恒例の正月飾り作りを実施しました  
一気に24基の飾りを仕上げた満足顔



2012年度の活動を振り返って

2012年度からエコチームの活動に参加しています。これまで、長岡京市環境フェア、リサイクルフェア、京都環境フェスティバル、神足小学校での子ども祭りなどに参加しました。“環境問題”や“エコ”の活動というと堅苦しいイメージですが、私達は子どもから大人まで楽しみながら環境にやさしい取り組みをしています。たとえば、各小学校での子ども祭りでは、小学生を対象に牛乳パックでぶんぶんゴマを作ったり、小さなLEDランプを使用して魚のキーホルダーを作ったりなど、家庭から出るゴミでおもちゃを作ることを実感して貰っています。

ただ楽しんで終わりということではなく、イベントを通して、色々な方々にこの取り組みに興味を持ってもらうこと、身近なところ、すぐに来るようなところから環境に取り組んでもらうことを目標に2013年度も活動していけたらと思います。

エコチームPJT 三上 仁美





## 平成24年度第4回西山ファミリー環境探検隊報告

平成25年2月3日(日)9時～15時 西山森林整備推進協議会主催  
 参加者総計69名〔内訳、ファミリー探検隊参加者：34名、公募参加者親子：27名(10家族、子ども13名)、協議会(市役所)：2名、環境の都づくり会議：5名、おとくにパオ(はれザウルス)参加者：35名(子ども18名、大人14名、高校生3名)〕

今回のテーマは「森の中であーそぼ！」～冬の自然観察～です。

NPO法人おとくにパオさんと共催、全面協力いただきました。

観察指導は府立東稜高校の伴浩治(ばんこうじ)先生で生物の先生です。

早速、集合場所の西代橋のたもとで、紙芝居で里山のこと、動物の残したあと(フィールドサイン)を教えていただきました。観察手帳(A4・10ページ)を首にかけて歩きます。体操の後、すぐ出発しました。

出発時の気温は10度C、晴れ。パオの森までの途中で見つけたもの観察したもの・・・1)フユイチゴ、2)シカのあしあと(右手のがけに少なくとも3箇所以上はつきり残っていました)、3)ウスタビガのまゆ、4)センボンナラタケ(こならの木に群生、カメラマンが撮影中でした。小さいキノコが100本以上たてにならんでいます)、5)イノシシのぬた場、6)身体をこすりつけた木とイノシシの毛などです。…【写真上】一週間前の下見のときは霜柱が観察できたのですが、今日はありませんでした。すみれの株、ノイバラの紅い芽が見え、寒い中で春の準備が進んでいます。11時30分パオの森到着、大急ぎでしか肉カレーにとりかかります。大なべ二つ、みんなが持ち寄ったカレーの具材と水をだす、たきぎを拾う、たきぎを切る、火を大きくする、しか肉を切る(男の子も女の子も)、いためたしか肉を入れる、カレールウを入れる、かき回す、風向きがしょっちゅう変わりみんな煙でいぶされて大変でした。まず焼いたしか肉を食べました。やわらかい。おいしい。食べる。お待ちどうさま、やっとできました。みんなおかわりしました。完売、完食。マシュマロ、サツマイモ、丸干しいわし(今日は節分です)も焼いて食べました。…【写真下】手作りケーキもいただきました。パオの森で先生と子どもたちが集めたもの・・・1)くりのいが、2)しかのふん、3)のうさぎのふん(お茶のにおい?)、4)



サンガメ(冬眠中?カメムシの親戚)など。1時から2時まで森の遊び、高ブランコ：5才の女の子、心配でしたが大丈夫でした。身体が軽いので鳥のようです。ターザンロープ：ワイヤーの上を滑車で滑るようになっており(約30m)、後半加速がつくのでスリルがあります。大きい子が小さい子の面倒をみています。がけのぼり：ロープをたよりに山の斜面を20mほどよじ登ります。あっという間に時間がすぎました。広場にひきあげ、ダッチオーブンで調理していただいたしか肉ステーキを食べました。やわらかくて、おいしいが皆さんの評価です。各班がマイクで感想を発表し、パオの皆さん、先生にお礼を申し上げ2時過ぎ下山しました。皆さまお疲れさまでした。今回で24年度の西山ファミリー環境探検隊は終了です。来年度も実施予定で、広報とHPで募集されますのでよろしく願いたします。

報告 2013, 2, 4 里山再生PJT 加藤克巳



## 環境教育 P J T



### 第66回 環境教育ミーティング(平成24年度のテーマ：環境と災害)

主催：長岡京市環境の都づくり会議・環境教育プロジェクト/長岡京市立中央公民館

後援：長岡京市

京都府地域力再生活動

講師：柳沼宣裕さん(当会議のまち歩きPJTリーダー)

演題：被災地から考える 乙訓から考える

日時：平成25年 3月21日(木)夜7:00～9:00

会場：長岡京市立中央公民館 2階・講座室



#### <お話の内容>

2011年の夏、私は研修生を連れて第1次隊から5次隊まで、気仙沼市にある地域災害ボランティアセンターに入りました。そこで見たものは海岸部の被害のみならず、何キロも離れた場所まで流された車両・家屋、流された思い出の品々。そして塩水に浸かって使えなくなった田んぼとアスベスト。災害の後には環境や生態系の課題も起こります。今回はそのようなことを小畑川とも組み合わせ考えてみたいと思っています。

<追記> 今回はまー難しいお題。でもね、かけ出しのころ色々面倒を見てもらった京都乙訓の人に声をかけられたら、そりゃ受けます！。そう、土地の記憶をまちづくりや防災に活かす、『まちごと防災探検隊』等々の活動は旧乙訓郡域の自治会、学校、水防団との協同事業でした。

<講師のプロフィール> 営業職の後、国立マレーシア北大学人文・教育学部主任教師、国土交通省淀川河川事務所河川レンジャー、内閣府地域雇用創造事業「グラウンドワーク・インターンシップ」四国ブロック事務局担当・被災地支援業務現地責任者を経て、現在、大阪市西淀川区まちづくりセンター支部で地域まちづくり支援員。地域活性化人財発掘、地域での雇用創出、防災普及業務・マンション住民の地域参加促進等を行っている。……………「地域を元気にする仕事」は職業・業務としてまだまだ確立していない分野。そのため、なんとかさまざまの方に声をかけてもらって仕事についています。また、水防団を応援する、「淀川スイポーズ」事務局長。川を核としたまちづくりの活動をしています。





## “金ヶ原 憩いの森” づくり完成近し

2月17日アップダウンのきつい歩道を重機で拡張整備して軽自動車が入れる林道にしました。歩行の安全性向上と資材の運搬等に威力を発揮してくれます。

写真①：道路整備前、写真②：道路整備後

また、高さ4メートルの陽光桜3本を植樹。この桜が咲く4月には森づくり二期工事も完成しているでしょう。

写真③：陽光桜の植樹作業



①

竹林再生 P J T  
渡辺



③



②



### ★★★ 環境の都づくり会議のプロジェクトと連絡先 ★★★

プロジェクト名	内 容	連絡先	T E L
里山再生PJT	森林ボランティア他	加藤	951-0933
環境教育PJT	環境教育ミーティング	西村	952-3718 =FAX
エコチームPJT	地球温暖化防止への取組み	田原	953-1696
ビオトープPJT	ビオトープや川あそび	小根田	957-4081
花を咲かそうPJT	街角花いっぱい運動	湯川	952-5505
まち歩きPJT	市内を歩いて再発見(地元学入門)	柳沼	090-1954-9669
竹林再生PJT	竹林再生	渡辺	090-7755-9238

「YAHOO」又は「GOOGLE」で「環境の都ニュース」と検索しますと、きれいなカラー紙面の「環境の都ニュース」を楽しむ事が出来ます。是非、ご覧下さい。

「環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。  
協賛金 一口年間1000円 (一口以上)

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。情報や「ニュース」の感想なども下記の事務局までお寄せ下さい。

【事務局】長岡京市環境政策監 〒617-8501長岡京市開田1-1-1  
電話：075-955-9542 (直通) Fax：075-951-5410  
Email：kankyouseisakukan@city.nagaokakyo.kyoto.jp

編集後記 (文；山本) 中国から気流で運ばれるPM2.5 (百万分の1メートルの微小粒子状物質で呼吸器を通して健康への悪影響が有る) が環境問題で大きく扱われています。これに対してマスクは一部の高機能マスクが有効、一般の品は評価不詳ですが、マスクの防塵効果は網目で捕えるのではなく、繊維に吸付ける吸着効果で繊維の隙間よりはるかに小さな塵も充分捕えるようで、そこそこの効果のようです。空気清浄器は製造各社いづこもこのチャンスに対PM2.5効果を表明しない (出来ない?) ので、とりあえず電気集塵タイプの空気清浄機を購入し試し中です。とりあえず消費電力は最少タイプです。